

# 戸田市 施策評価シート

作成日	令和 2年 6月30日	作成者名	浜野 康彦	評価者名	吉野 博司
-----	-------------	------	-------	------	-------

## 1. 施策の位置づけ <PLAN>

基本目標	04 緑と潤いのあるまち	中心となる課	環境経済部・環境課
分野	03 地球環境保全	関係課	環境経済部・経済政策課
施策	42 環境マネジメントシステムの推進		
施策の目的	環境に配慮したまちづくりの仕組みを構築することで、市民及び事業者が、高い環境意識を持てるようにしていきます。		

## 2. 施策の主な取り組み <DO>

取り組み①	環境マネジメントシステム推進事業
取り組み②	
取り組み③	
取り組み④	
取り組み⑤	
その他の取り組み	
その他の取り組み	

## 3. 施策の指標における成果（主な指標）<CHECK>

指標名	指標の説明 (算定式)	単位	目標値	達成値					
				H27	H28	H29	H30	R1	R2
環境マネジメントシステムを導入している市内事業者	EMSを導入している事業所の数	件	125	113	107	113	110	111	
ホームページ等を通じた情報発信回数	EMSを導入している事業者の事例紹介など	回	9	0	0	3	5	7	
その他施策の取組事項に係る成果	庁舎内においても、環境マネジメントシステムの推進を行っており、一定の成果がある。								

## 4. 施策の展開 <ACTION>

課題	市役所において、環境負荷低減や温室効果ガスの削減が図れるよう、環境マネジメントシステムを効果的に運用していく必要がある。 一方、市内事業者の環境マネジメントシステムの推進については、企業の事業規模や経営者の意向により、事業所ごとに、人的・経済的負担や考え方も異なる状況を踏まえて、いかに効果的な周知や支援を実施していくかが課題となっている。	対応策	市役所の環境マネジメントシステムについては、環境負荷低減や温室効果ガスの削減が図れるよう、各所属と調整しながら継続的に取り組んでいく。 また、環境マネジメントシステムの地域への拡大については、市内事業者が導入可能な環境マネジメントシステムを検討し、普及促進に向けた取組を実施していく。 さらに、事業者の環境マネジメントシステム普及のために、経済政策課において実施している、ISO等導入に係る補助事業についても継続していく。
----	---	-----	---

## ○結果と今後の方向性（シート作成次長記入）

進捗状況 (A 躍進中、B 予定通り、C 遅れ気味)	説明 (総評)	環境マネジメントシステムを導入した事業者数については、111件と前年度から若干ではあるが増加し、情報発信回数も定期的実施できている。また、本市の環境マネジメントシステムは市の事業における環境保全の点で重要であることから今後も継続していく。なお、令和3年度以降については、事務の効率を考慮し環境企画調整事業に統合する。
今後の方向性（人員/予算） (↑増加、→維持、↓削減)	説明 (人員/予算)	人員や予算については維持することとし、事業者の環境マネジメントシステム導入促進に係る補助や啓発について引き続き取り組んでいく。また、本市の環境マネジメントシステムについても現行の資源を維持しつつ、継続して運用していく。なお、令和3年度から環境企画調整事業に統合した後も、引き続き事務の規模は現状を保つこととする。

## (評価者コメント)

本施策の課題である市内事業所への環境マネジメントシステムの普及については、関係課と連携するなど、引き続き啓発に取り組んでいきたい。
---

# 戸田市 施策評価シート

作成日	令和 2年 6月30日	作成者名	浜野 康彦	評価者名	吉野 博司
-----	-------------	------	-------	------	-------

## 5. 事務事業の検討 【一般会計】

(単位：千円)

大 事 業	中 事 業	事務事業名		事 業 区 分	事務事業評価の結果							★事務事業の方向性			R 3 予 算 額	事業費  うち 一般財源				
		事業コード			R 3 計 画 額	事業 の 方 向 性	実 施 計 画 候 補	評価結果				事業 の 方 向 性	実 施 計 画 候 補	施 策 内 優 先 度			コメント			
		事業内容						事業費	うち一般財源	人件費	施策への貢献度							経費水準	事業手法	受益・負担の公平性
98		環境マネジメントシステム推進事業 (環境課)																		
	98	環境マネジメントシステム推進事業		任意	216											0				
					363															
		01	04		03	01	98	98	8	○	B	B	B	B	8	○	終	本事業については、令和3年度以降、環境企画調整事業に統合することとする。	0	
		市の全施設における温室効果ガス総排出量を把握し、その			0															
				0																
計 (千円)																				
					事業費	216	363	0	0											
					うち一般財源	216	363	0	0											

事業の方向性： 1 現状で継続    2 拡大して継続    3 縮小して継続    4 他事業と統合    5 休止    6 その他見直し  
 7 令和3年度で終了    8 令和2年度で終了    9 令和元年度で終了